

教育研究評議会議事録（第243回）

日 時：令和6年12月26日（木）14時58分～16時02分

場 所：事務局第一会議室及びオンライン会議

出席者：小川、喜多、山本、水野、林、小藤田、小林、松岡、海妻、宮川、横山、清水、長田、伊藤、木村、村上、柴垣、宮本、天木、萩原、澤井

配付資料

- | | |
|-----|--|
| 議題1 | 岩手大学内部質保証に関する実施要項等の一部改正について |
| 議題2 | 第4期中期計画の変更について |
| 議題3 | 令和7年度（2025年度）学年歴（案） |
| 議題4 | 令和8年度岩手大学入学者選抜における募集人員及び実施教科・科目等について |
| 報告1 | 提携講義（教養教育科目「社会連携学A」）について |
| 報告2 | 第1回オープンアクセスに関する学内説明会について |
| 報告3 | Xプログラムに係る全学の事業推進体制について |
| 報告4 | 教員人事会議報告（人文社会科学部、教育学部、理工学部、農学部） |
| 報告5 | 役員会報告（第566回～567回） |
| 報告6 | 学長・副学長会議報告（第303回～304回） |
| 報告7 | 令和6年度入試委員会（第5回）記録（案） |
| 報告8 | 令和7年度入学試験実施状況【学部（学校推薦型選抜及び総合型選抜、編入学）】【大学院】 |

議事に先立ち、前回議事録について、原案のとおり確定することとした。

議 題

1. 岩手大学内部質保証に関する実施要項等の一部改正について

学長から、岩手大学内部質保証に関する実施要項等の一部改正について諮る旨が述べられ、喜多理事から、資料に基づき、今回の一部改正は令和7年度獣医学部設置や、実施組織の変更によるものであることの説明があった。審議の結果、次の実施要項等について、一部文言の整合性を合わせることとし、了承した。

- ・岩手大学内部質保証に関する実施要項
- ・岩手大学教育課程における自己点検・評価のガイドライン
- ・岩手大学教育研究等における内部質保証のための関係者に対する意見聴取に関するガイドライン
- ・岩手大学施設設備、学生支援及び学生の受入における自己点検・評価の実施時期等に関するガイドライン

岩手大学教職課程の内部質保証に関する実施要項等の一部改正については、教員養成支援センター運営委員会で審議後、後日学長・副学長会議に諮る予定であるとの説明があった。

2. 第4期中期計画の変更について

学長から、第4期中期計画の変更について諮る旨が述べられ、喜多理事から、資料に基づき、第4期中期計画の別表欄について令和7年度の学部改組・新設及び連合農学研究科の定員増に伴い変更することの説明があった。審議の結果、原案のとおり了承し、経営協議会に諮ることとした。

3. 令和7年度学年暦（案）について

学長から、令和7年度学年暦（案）について諮る旨が述べられ、山本理事から、資料に基づき、令和7年度学年暦（案）について説明があった。

委員から出された質問は次のとおり。

- 1月の講義開始時期について、帰省した学生に配慮すると6～7日あたりから開始することはできないのかという意見を以前出したことがあるが、そのことについてどう考えているか。
- 1月の授業開始時期を後ろにずらし、講義終了時期を2月半ばまでとすると、成績報告の締め切りに間に合わないなど、卒業予定者の成績を確定することが遅くなるため、終了時期を遅くすることは難しい。9月後半から後期授業を開始することになると、10月入学の時期とずれることや、集中講義の関係で難しい。
- 1～2日冬季休業を伸ばすことについては、引き続き検討していく。

審議の結果、原案のとおり了承した。

4. 令和8年度岩手大学入学者選抜における募集人員及び実施教科・科目等について

学長から、令和8年度岩手大学入学者選抜における募集人員及び実施教科・科目等について諮る旨が述べられ、山本理事から、全学入試委員会では、理工学部から学校推薦型選抜において基礎学力試験を課すとした案について、学校推薦型選抜で基礎学力試験を課すことを文部科学省から可の回答が来た場合に了承することとしたこと、12月24日開催の学長・副学長会議で本件の審議の際には文部科学省から本学の質問に対する回答がきておらず、引き続き、文部科学省の回答待ちとしていたこと、12月25日朝時点で本学の質問に対して可とする回答を得られていないことから、理工学部長と協議し、基礎学力試験を課すことは見送ることとしたとの説明があった。その後、別冊資料に基づき、令和7年度入試からの変更点について、アドミッションポリシー、募集人員、実施教科・科目等について説明があった。

審議の結果、原案のとおり了承し、12月中に公表することとした。学長からは、12月24日に文部科学省から、全国の大学に対して高等学校教育に支障のあるような選抜

はやめて欲しい旨の通知があったとの付言があった。

5. その他

なし。

報 告

1. 提携講義（教養教育科目「社会連携学A」）について

山本理事から、岩手銀行から申し込みのあった提携講義（教養教育科目「社会連携学A」）の設置について、報告があった。

2. 第1回オープンアクセスに関する学内説明会について

水野理事から、第1回オープンアクセスに関する学内説明会を1月16日にオンラインで開催するとの報告があった。

委員から出された質問は次のとおり。

○オープンアクセスを進めるにはお金がかかる。今回は事業の採択により予算があるが、事業予算がつかなくなったらどうするのか。

●データを掲載するためのハード関係は今回採択になった補助金で整備している。ランニングコストについては、低価で維持できるシステムを導入予定で準備を進めている。学術論文は岩手大学リポジトリに、研究データは GakuNin RDM に保存していただく。APC（オープンアクセスするための論文処理費用）に関しては、今年度はほぼ制限無く支援できたが、来年度以降は図書館で契約している限られた数の支援となる。研究者が直接負担するのはAPCだけである。

3. Xプログラムに係る全学の事業推進体制について

宮川副学長から、「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業」を進める全学の事業推進体制について報告があった。

4. 教員人事に関する報告について

教員人事について、資料に基づき、人文社会科学部長から2件、教育学部長から2件、理工学部長から2件、農学部長から7件の報告があった。

5. 役員会報告

6. 学長・副学長会議報告

7. 入試委員会報告

8. 入試結果報告

資料のとおり。

9. その他

法人運営部長から、学長の学長年頭挨拶は1月6日（月）11時から銀河ホールと配信

でのハイブリットで行うとの報告があった。

最後に、学長から、次回の教育研究評議会を定例の1月30日（木）の15時から開催することが述べられた。